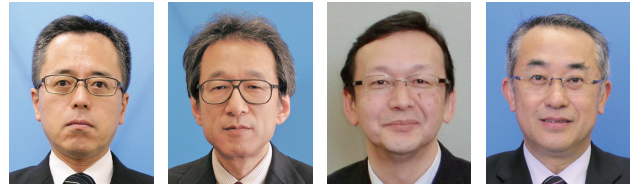


社会資本のメンテナンスに関する研究の推進



メンテナンス研究推進本部

社会資本マネジメント研究センター 建設マネジメント研究官 佐々木 政彦

下水道研究部 下水道機能復旧研究官 横田 敏宏 河川研究部 河川構造物管理研究官 佐々木 隆

道路構造物研究部 道路構造物管理システム研究官 福島 眞司

(キーワード) 社会資本、維持管理、持続性、マネジメント

2. インフラの維持管理

1. はじめに

社会資本の老朽化が進むなか、各社会資本分野で予防保全の考え方に立った長寿命化計画が策定され、点検・診断・対策・データベース等、維持管理を適切に実行するための検討が精力的になされている。また、こうした取り組みが進むと、維持管理のPDCAサイクルの持続性確保といった各分野に共通した課題も重要度を増すと考えられる。

このような認識のもと、国総研では各分野の維持管理に関わる技術開発を推進するとともに、維持管理に関する研究の方向性、優先度の高い課題の設定等のマネジメント、およびメンテナンス全般に共通する課題解決に向けた取り組みを行っている。

2. 維持管理におけるマネジメントの改善

維持管理のマネジメントを持続的に行うための枠組みに関し、3つの階層からなるフレームワークを整理し(図-1)、各レベルに応じた評価項目を、自己点検チェックシートとして道路、河川、下水道分野において試行的に作成し、改善を進めてきた。

平成29年度は、これらの研究成果を、舗装点検要領に基づく舗装マネジメントに反映する取り組みを行った。

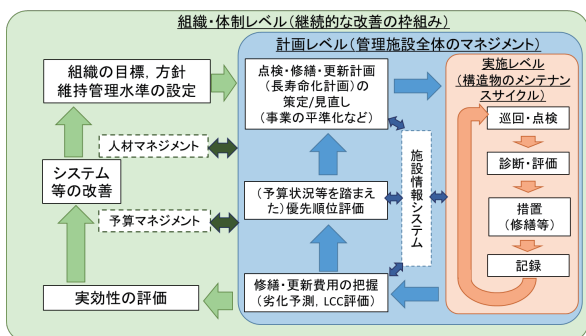


図-1 維持管理マネジメントのフレームワーク

3. 維持管理における情報の利活用

平成25~28年度に実施した「社会資本等の維持管理効率化・高度化のための情報蓄積・利活用技術の開発」の事後評価を実施した。

また、CIMの活用による維持管理の効率化・高度化について、現場のニーズと利用場面を踏まえた調査研究を行っている(図-2)。

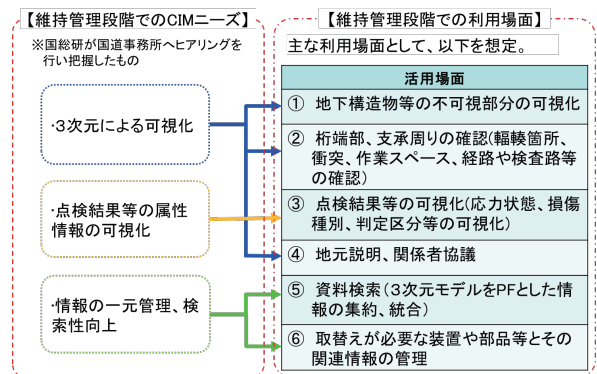


図-2 維持管理段階CIMの活用

4. 今後の展開

国土交通省では、「メンテナンス政策元年」と位置づけた平成25年から5年を経過するに当たり、平成29年12月に、社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会の下に設置された社会資本メンテナンス戦略小委員会(第3期)をスタートさせ、施策の進捗やこれまでのレビューを行い、今後の取り組みの方向性について検討を行っている。

国総研においても、引き続き、現場の課題・ニーズと最新技術動向の把握に努め、既往の研究成果のレビューを行った上で、維持管理分野における研究開発、技術指導を実施し、これらの成果、進捗状況等について対外的発信に努めていく。